

日本薬学会第 136 年会  
ランチオンセミナー趣意書

日本薬学会第 136 年会組織委員会  
組織委員長 伊藤 智夫  
(北里大学薬学部)

## ご挨拶

謹啓 時下ますますご清祥のこととお慶び申し上げます。

日本薬学会第 136 年会組織委員会を代表してご挨拶申し上げます。

日本薬学会年会は、毎年 3 月に開催される、日本の薬学関係者が一堂に会する学会であります。薬科大学・薬学部で教育・研究に携わる者、企業で医薬品の研究・開発に従事する者、行政の立場から医薬品の有効性・安全性の確保を具現化する者、病院や保険薬局で医薬品の適正使用を推進する者など、医薬品を取り巻く幅広い分野から例年多数の参加者が集結いたします。さらに、将来、薬学やその関連領域で働くことになる、多くの薬学部生、大学院生も参加いたします。

日本薬学会第 136 年会は、2016 年 3 月 26 日（土）から 29 日（火）までの 4 日間、パシフィコ横浜（神奈川県横浜市）で開催されます。年会テーマとして「次世代の薬学への羅針盤～新しい薬学への出帆～」を掲げており、1 万名近い参加者が見込まれます。

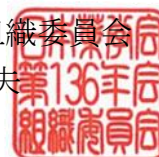
平成 27 年度入学生から改訂モデル・コアカリキュラムに添った教育が始まるとともに、薬学教育学会設立に向けた準備が進んでおり、6 年制薬学教育の再出発の時期となっています。一方、日本薬学会第 135 年会からは若手創薬研究者向けの国際シンポジウムが始まり、2016 年 3 月には 6 年制薬学教育を履修した博士課程（修業年限 4 年）修了生が初めて輩出されるなど、創薬関連の研究者育成においても新たな時代を迎えます。

日本薬学会年会は、薬学を取り巻く幅広い分野からの参加者が薬学の諸課題について、その成果を発表し討議するとともに、最新の情報を交換する場となっています。日本薬学会第 136 年会においても、多くの方にご参加いただいて薬学の教育・研究について活発に議論し、本年会が次世代への羅針盤となることが期待されます。

年会の運営については可能な限り経費節減に努めますが、参加費だけでは充実した年会を開催できないのが現状です。本年会開催に際しては、共催セミナー（ランチョンセミナー）の実施を企画しております。つきましては、本年会の趣旨にご賛同いただき、ランチョンセミナーの開催について格別のご配慮をお願い申し上げます。

謹白

日本薬学会第 136 年会組織委員会  
組織委員長 伊藤 智夫



## 1. 開催概要

- 1) 学会の名称: 日本薬学会第 136 年会
- 2) 主催: 日本薬学会第 136 年会組織委員会  
組織委員長 伊藤 智夫 (北里大学薬学部)

- 1) 会期: 2016 年 3 月 26 日(土)、27 日(日)、28 日(月)、29 日(火)
- 2) 会場: パシフィコ横浜 (神奈川県横浜市西区みなとみらい 1-1-1 TEL: 045-221-2155)

## 3) 開催計画の概要

- (1) テーマ: 「次世代の薬学への羅針盤」 ～新しい薬学への出帆～  
Toward the Next Generation of Pharmaceutical Sciences

### (2) 日程表(予定)

月日	会場名	午前	午後	夜
3月26日(土)	会議センター	G会場	理事会	
		D/E会場		総会・授賞式
		B/C会場		市民講演会
	ペイブリッジカフェテリア	レセプション会場		
3月27日(日)	会議センター	A会場	開会・会頭講演	特別講演
		B-K会場	シンポジウム	ランチョンセミナー シンポジウム
		L-T会場	一般口頭発表	一般口頭発表
	展示ホール	ポスター・展示会場	ポスター・展示	
3月28日(月)	会議センター	A会場	特別講演	特別講演
		B-K会場	シンポジウム	ランチョンセミナー シンポジウム
		L-T会場	一般口頭発表	
	展示ホール	ポスター・展示会場	ポスター・展示	
	アネックスホール	国際創薬シンポジウム会場	国際創薬シンポジウム	
	横浜ベイホテル東急	懇親会会場		
3月29日(火)	会議センター	A会場	特別講演	
		B-K会場	シンポジウム	ランチョンセミナー シンポジウム
		L-T会場	一般口頭発表	
	展示ホール	ポスター・展示会場	ポスター・展示	

### (3) プログラムの特徴

3/27(日): 病院および保険薬局薬剤師向けの医療系、および薬学教育関連の口頭・ポスター発表が多くなる予定。一方、特別講演やシンポジウムは、創薬を含む基礎薬学関連の領域が主となる予定。

3/28(月): 国際創薬シンポジウムが開催されるため、企業および大学から多くの創薬研究者が参加する見込み。特別講演やシンポジウムは医療系および薬学教育関連のものが主となり、口頭・ポスター発表は創薬を含む基礎薬学関連の領域が主となる予定。

3/29(火): 特別講演、シンポジウム、そして口頭・ポスター発表とも、薬学に関連する全ての領域を網羅する予定。

### (4) 参加予定人数: 国内:10,000 名

## 2. ランチョンセミナー募集要項

### (1) 募集内容

日程	セミナー	時間	共催金(税込)	会場	募集数
3月27日(日)	ランチョンセミナー	12:00~13:00	¥800,000-	320席	2
			¥700,000-	280席	2
			¥600,000-	240席	2
			¥400,000-	140席	2
3月28日(月)	ランチョンセミナー	12:00~13:00	¥800,000-	320席	2
			¥700,000-	280席	2
			¥600,000-	240席	2
			¥400,000-	140席	2
3月29日(火)	ランチョンセミナー	12:15~13:05	¥800,000-	320席	2
			¥700,000-	280席	2
			¥600,000-	240席	2
			¥400,000-	140席	2

※先着順にて承ります。

### (2) 共催費に含むもの

下記は共催費用に含み、事務局にて手配をいたします。

- ① セミナー会場使用料
- ② 控室使用料
- ③ 音響設備費: マイクは座長用、講演者用、質疑応答用を予定しております。
- ④ 映像機材費: 液晶プロジェクター1式、発表用PC1台(Windows 7 Office 2007/2010/2013)、スクリーン1張、レーザーポインター1本、卓上ライト1個。  
基本機材以外の機材・備品をご使用の場合は、別途運営事務局へご相談下さい。
- ⑤ 付帯設備費: 椅子・机・ステージ・照明など

### (3) 共催費に含まないもの

下記費用は共催費用には含まれず、各社でご負担となります。

- ① 参加者昼食費
- ② 講演者・座長の謝礼、交通費、宿泊費
- ③ 控室内での飲食費・機材費
- ④ 追加機材・看板装飾・当日運営要員
- ⑤ 案内パンフレット等の印刷制作物

### (4) 会場

具体的な会場につきましては、主催者にて決定の上、後日通知いたします。

(5) 申込要領

申込書に必要事項をご記入の上、メールもしくは FAX にてお申し込みください。

申込書受領後、運営事務局より請求書を送付いたします。請求書に記載の期日までに指定の口座にお振り込みください。共催金の入金の確認をもってお申込完了とさせていただきます。

申込締切: **2015年11月30日(月)**

※予定数に達し次第、繰り上げて受付を終了する場合があります。

(6) プログラム編成:

ご予定のテーマ、講演者、座長について、申込書へご記入の上お送り下さい。本年会組織委員会と貴社との合意の上、決定することといたします。

決定後、講演依頼状等は各社にてご手配下さいますよう、お願いいたします。

(7) その他

その他詳細につきましては、お申込後、後日ご案内いたします。

(8) 申込および問い合わせ先

日本薬学会第136年会運営事務局

〒101-8449 東京都千代田区猿樂町1-5-18 千代田ビル

(株)ICS コンベンションデザイン内 担当 飯尾弘・佐藤謙一・高橋令子

TEL: 03-3219-3541 FAX:03-3219-3577 E-mail:pharm136@ics-inc.co.jp